

かけはし通信



モデル地区小学校でスタートカリキュラムを試行

令和8年度は、藤枝中学校区が「架け橋プログラムモデル地区」となり、様々な取組がされています。その一つが、スタートカリキュラムです。

【モデル地区（藤枝中学校区）対象施設】

小学校	園
藤枝小学校	藤枝東幼稚園、藤枝保育園
藤枝中央小学校	藤枝音羽幼稚園、藤枝聖母幼稚園、藤枝西幼稚園（R8年度末閉園予定）
稲葉小学校	いなばこども園

「スタートカリキュラム」ってなあに？

スタートカリキュラムとは、入学したばかりの1年生が、安心して学校生活を始められるよう、遊びや体験を取り入れながら、少しずつ教科の学習に慣れていくようにしていくことです。こどもたちの様子に応じて、弾力的な時間設定をおこなっていきます。



学年だより

【学通のねらい】 がっこうどきどき はじめまして
 始業式の生活リズムにも馴染んだ遊びや活動をしなが、はじめての学校生活にむすぶ姿をもつ。

学年	1	2	3	4	
月	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10
曜日	げつ	か	すい	もく	きん
1	にゆうがくしき びっかびかの1ねんせい	なかよしたいむ ・けんこうかんさつ ・なかよしたいむが はじまるよ!	なかよしたいむ ・けんこうかんさつ ・たのしくあそぼう	なかよしたいむ ・けんこうかんさつ ・たのしくあそぼう ・むすびに きがえよう	はついくそくてい
2		がっかつ にもつをいれよう みんなて つかりばよ	えんびつと なかよし	はついくそくてい しんちょう たいじゆう	
3		がっかつ はじめの げこう	せいかつ・おんがく なかよくたおう	せいかつ・げこう ぼく・わたしのか お	
4	入学したばかりの子どもたちが、安心して学校生活を始めるよう、遊びや体験を取り入れながら、少しずつ教科の学習に慣れていくようにしています。 また、子どもたちの様子に応じて、弾力的な時間設定をおこなっていきます。				

■ 一人ひとりが安心して過ごしながら、子どもや先生とかけがえのない関係を築いていく時間です。
■ 生活を中心に、体験的な活動を通して教科の学習に少しずつ慣れていく時間です。
■ 英語や算数などの教科の学習を中心に、子どもたちの学力を少しずつ伸ばしていく時間です。
■ 学校行事等あらかじめ予定されている時間です。

モデル地区3小学校では、ゆるやかなスタートのために、4月中の1時間めを自由遊びの時間（例：なかよしたいむ）にしました。自由遊びと言ってもずっとひとり遊びをするわけではなく、少人数グループ、学級全体、学年ごとと活動が広がっていくような工夫がされています。

保護者にもゆるやかなスタートについて理解を得るために、学年だよりの第1号にはスタートカリキュラムの概要も記載しています。入学式でも保護者への説明がありました。



存在感が増す朝の健康観察



「かけはし通信No.7」でも紹介した全員で名前を呼ぶ「朝の健康観察」を実践しました。みんなに名前を呼ばれると、とっても嬉しそうに「元気です!」と答えます。友だちの名前を呼ぶ際に、自然にその子の方へ心と体を向けて返事を聴こうとする様子も見えてきました。一人ひとりの存在を認め合う、素敵な時間となっていました。



各学校の環境を生かした工夫



こどもたちに大人気の稲葉小の「心の池」。おもいおもいに生き物を探すなど、目を輝かせていました。そして担任の先生は、こどもたちが自然にかかり合って遊び出すしかけもしてくれています。



校内の空き教室を片付けて、こどもたちが自由に遊べるスペースを作ってくれました。床に敷いたマットがあるだけでも、園の環境と似ているので、安心する子もいたと思います。



ペットボトルキャップや洗濯ばさみ、紙コップ、不要になった算数教材などを昨年から集めてくれてあり、こどもたちは、自由な発想でおもしろい遊びをしました。



教室前のホールでは、クラスが違う友だちとも一緒に過ごすことができます。簡単な仲間づくりゲームを楽しむなど、ひとり遊びから集団での遊びに発展していきます。



みんなで力を合わせて作ったこいのぼり。「あとはどんな風にしたい？」と先生が投げかけると、「お花をいっぱいにしたい」「蓮華寺池公園のこいのぼりはキラキラしていたよ。」と、どんどんイメージが広がりました。



自由遊びの時間に引き続いて、生活科の「どうぞよろしく・なかよくなろう」の活動では、自己紹介をした後、お互いにサインを書いて交換しました。「2年生ともやりたいな。」と意気込んでいる子もいました。



【なかよしたいおを参観した園の先生の感想】

- ・自由に遊べる時間があることで、安心して過ごせ、授業にも集中できるのではないかと思います。こどもたちの笑顔がたくさん見ることができて、安心しました。
- ・自園からは一人で入学し、友だちがいない中だったので、最初にこういった時間があることで、関係づくりにもつながると思いました。

実践してくださった1年生の先生方からは、「不安が軽減し、学校生活に慣れるのが早かった。」「教師もゆったりとこどもを見取ることができた。」学校によっては、「泣く子やお休みする子が今年はいない。」という成果もうかがっています。今後は、「スタートカリキュラムから通常日課へのスムーズな移行をさらに工夫する」「保護者や他の学年の職員にも理解を進める」など、改善しながら継続していただけたと思います。すてきな実践をありがとうございました！

